

横田加代子君 BOXに協力

新会員入会式：

新入会員 プロフィール

氏 名 栄長^{エイナガ} 隆文

生年月日 昭和25年9月13日

会 社 名 大新潟カントリークラブ三条コース

役 職 名 総支配人

会社住所 三条市大字長沢1385

T E L 46-3221 F A X 46-3070

自宅住所 三条市石上3-37-1 ハピネス402

T E L 36-2832

ご 家 族 眞由美（妻）



栄長でございます。本当に珍しい名前です。出身は奈良県です。電話等で「栄長です」と言ってもなかなか分かって貰えないので、最近は「田中です」と言っております。本間幹事さんから紹介していただきましたがそんなに素晴らしい人間ではありませんのでここではっきり申し上げます。会長幹事さんのご推薦を頂いて、入会させていただきましたが、私の性格、素行を考えますと入会は100年早いのではないと思っています。入会させていただきましたからには、皆様のご人徳によりまして、まっとうな人間にさせていただきたいと思っております。ご指導ご鞭撻を宜しくお願いします。

卓 話： 「日・ロ友好訪問団参加報告」 小林 満会長

この度の、日・ロ友好訪問団「ハバロフスク・カムチャッカの旅」は2560地区の今年度国際奉仕委員会の主管企画で実施されました。私達の2560地区とロシアの5010地区との地区友好調印と加茂ロータリークラブとカムチャッカのアバチャンスキーロータリークラブの友好クラブ調印式に参加の目的です。

2560地区新潟県からは中條ガバナーご夫妻、斉藤地区幹事ご夫妻を初めとし、総勢40名の参加で、北クラブからは駒形実さんも出席参加され7名が行ってまいりました。新潟空港までの送迎は北クラブメンバーの「日の丸観光タクシー」さんが安全第一にと、懇切丁寧にやってくださいました。

8月14日、新潟空港からロシアのハバロフスクに向かいました。夕方5時半の定刻にハバロフスクに到着いたしました。時差が2時間ある関係で既に夜7時30分です。ホテルにチェックインせずに友好地区調印式とパーティーにはいりました。両国国歌を斉唱し、調印式とパーティーは厳粛の中にもたいへん和やかに、進行されました。パーティーではロシアのロータリアンはロシア民謡を日本のロータリアンは中條ガバナーのハーモニカ伴奏で日本童謡を歌い、ラストは「手に手つないで」で締めくくりの大変すばらしい、調印式パーティーでした。食事はパンとチャーハンでカニサラダと紅サケ、フルーツもあり、そこそこ「グー」という感じです。

気候的には今が一番よい季節と聞いておりましたが、ハバロフスクは30度以上もありしかも、飛行

機は離陸するまで冷房が入らず、着陸したとたん冷房がカットされ暑くて、皆さん扇子のオンパレードでした。

ハバロフスクは冬期間が半年間もあり、一番寒い時は－40度以上になる日もあるわけで、当然アムール川の水面は厚さ2mの水で覆われます。あたかも、信号機のない道路に変身するのです。

ハバロフスクもカムチャッカも道路を走行している車の殆んどが、日本の中古車でした。貸切バスや路線バスは以前は「越後交通」の中古バスが、そのままの状態で使用されていたようですが、現在は韓国から輸入の中古バスが殆んどだったように感じました。「くろねこヤマト便」「JA信州〇〇支所」や「やまざきパン」「ハングル文字のバス」など車のボディの文字も書き換えぬまま、道路を平然と走行しているので、ボーッとしていると、自分はいったいどこにいるのだろうと思ってしまうほどでした。

翌、15日は日本人慰霊碑を参拝し、国内線でハバロフスクからカムチャッカに向かいました。ハバロフスクとカムチャッカは2時間の時差があるため、日本とはつごう4時間の時差があることになります。

カムチャッカの気温は14～15度で肌寒く、道行く人々はみな皮ジャンやスカーフ、レーザコートを身にまとい、さながら初冬のいでたちです。

カムチャッカでは加茂ロータリークラブとアバチャンスキーロータリークラブの友好クラブ調印式が締結され、ボイラー等の贈呈式も執り行われました。来賓としてカムチャッカ市長ご夫妻もおいでになりました。

次の2日間は終日自由行動です。オプションツアーで「ゲーゼル間欠泉ヘリツアー」と「アバチャ湾クルーズ」を申し込んでいたんですが、ヘリツアーは気象条件、クルーズは軍事訓練のためにどちらも中止となりその代わりに「アバチャ高原トレッキング」に連れて行っていただきました。残雪（万年雪）が山肌にのこる山々を見、放し飼いのリスと戯れ、美味しい空気を腹いっぱい吸い、我が愚妻などいまだ行ったこともなく、まだ見ぬ「スイス」みたいと感慨に浸っておりました。

5日間滞在中に覚えたロシア語はスドラーストウィチェ（こんにちは）とスパシーバ（ありがとう）の2ヶだけです。目は口ほどにものをいいと申しますが、やっぱり外国を訪問するときはその国の言葉を理解できた方が数倍楽しいだろうと感じました。

この度の旅行でロシアのロータリアンと親しくなれたことはもちろん、2560地区から参加の他クラブのロータリアンとより親しくなれたことも私の大切な財産のひとつになったと思っています。

— 四つのテスト —

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |